

令和5年度

草津第二小学校

我が校の学ぶ力向上策

読み解く力を発揮し、主体的に学ぶ子どもの育成を通して、自己肯定感を高める

1 学ぶ力向上の方針 (校内研究のキーワード)

○目指す子どもの姿を理解し、読み解く力を高め発揮できるような授業展開を設定する。

○子どもの主体的に学ぶ姿を引き出す手立てを考え、単元全体を構想する。

2 学ぶ力向上の具体的な取組 … カリキュラム・マネジメント、校内研究の取組み充実、校内OJT組織の推進

学びを実感できる

授業づくり

- 学習の「ふり返り」活動を充実させ、学びの実感を生み、自己の成長に目を向けさせる。
- 効果的なICT機器の活用を探り、授業改善に取り組む。
- 「読み解く力」(教科学習、会話、遊び、読書など、様々な場面で発揮される力です。滋賀県が育成に力を入れています。)の視点をふまえた授業づくりに努め、主体的に学ぶ姿を引き出す。

学ぶ意欲を引き出す

学習集団づくり

- 安心して学べる学習規律の定着や「話す・聞く」姿勢の育成を図る。
- 何事にも積極的に参加・発言したり、失敗を恐れず挑戦したりできるように、一人ひとりの学習活動を温かく受けとめ、支持的な学習集団をつくる。
- 学習のプロセスや結果を積極的に「認める・ほめる・励ます」ことを意識化・行動化する。

子どものために一丸となって

取り組む学校づくり

- 合言葉「どんどんチャレンジ!やればできる」「思いやりとありがとうの心で」を大切にした指導を行う。
- 教職員の指導力向上に努める。
 - 校内研究の取り組みから
 - 校内OJT(On the Job Training→実際の職務現場において業務を通して、上司や先輩から指導をおこなうこと)の組織化から
- 授業公開・参観を積極的に行える仕組みを整え、授業改善に活かし授業実践に繋げる。